



写真中の獅子は、左から判官、女獅子、男獅子。笛の音と、花笠が持つささら(写真中左端)の独特の音が鳴り響く中、保存会の皆さんにより、厳かに獅子舞が奉納されました。

ピックアップ  
広報

## 町指定無形民俗文化財 泉井神社ささら獅子舞

### 泉井獅子舞保存会の手により 伝統の舞い、今年も奉納

かつては、演じ手には年齢や性別、長男であることなど、厳しい条件がありました。しかし少子化の影響で、現在は、泉井地区に住む小学生以上の子どものすべてが対象となっています。また、若い人とのつながりを作るた

#### 継承活動を通じて 地域愛の醸成へ

10月8日と9日に行われた泉井神社秋季例大祭で、今年も伝統の「泉井神社ささら獅子舞」が奉納されました。  
この獅子舞は、今から約560年前、この地に移住した先人たちが、諏訪大明神をまつり、悪魔退散・無病息災・五穀豊穡・家内安全を祈願して奉納したのが始まりとされています。  
担い手不足から、昭和53年に泉井獅子舞保存会を設立。以後毎年4月から9月にかけて、泉井集落センターでささら獅子舞の練習を行い、秋季例大祭で奉納してきました。

め、かつて経験した高校生や社会人などのOBに依頼し、祭り当日に参加してもらっています。  
保存会の皆さんは「獅子舞を祭りへの奉納だけでなく、次世代に伝えるものと意識してほしい。そして、獅子舞を通じて、社会的マナーを覚えながら、地域の人と関わることで、泉井をもっと好きになってほしい」と子どもたちへの想いを語りま



ささら獅子舞を練習する子どもたち。伝統を重んじる気運を高めるため、小中学校との連携を図ったり、保護者に練習の様子を参観してもらったりもしています。

#### インタビュー 獅子を演じた皆さん



(左から)千装さん、寺門さん、小川さん。

千装達也さん(6年)：親からの勧めで始めましたが、子どもの頃から慣れ親しんでいたため、すんなりと受け入れられました。

寺門夏姫さん(5年)：練習は夜遅くて大変なときもありますが、皆さんが丁寧に分かりやすく教えてくれます。

小川天太郎さん(6年)：小さい頃から見ていた踊りも、今はその意味まで分かるようになりうれしいです。



多世代が参加した「1000 m走」



意地がぶつかり合った「綱引き」

競技やレクを通じて  
地域や家族での絆を深めた



気持ちを合わせた「長縄跳び」



名物競技！「むかで競争」

#### フォト レポート 第59回 町民体育祭

10月2日、町立鳩山中学校第2グラウンドで「第59回町民体育祭」が行われました。会場では、競技やレクを通じて、子どもから大人まで、多くの笑顔が生まれていました。

なお、今年のチーム対抗競技は、前回に続き第8チーム(鳩山ニュータウン新自治会)が優勝し、第5チーム(大橋・泉井)が準優勝、第4チーム(熊井・高野倉)が第3位となりました。



総合順位を決めた「男女混合リレー」



近くて遠いカゴ？「紅白玉入れ」



白熱！「小学校親善リレー」



家族で楽しんだ「親子でダンス！」

組体操を立派に演技する園児たち(年長のさくら組)



#### フォト レポート

#### 子どもたちの成長を実感 町立鳩山幼稚園運動会

10月8日、町立鳩山幼稚園で今年も運動会が開催され、園児らの元気で一生懸命な姿を見て、会場は大きな拍手と笑顔があふれていました。会場では、園児らがかけっこや綱引き、玉入れなどの競技と、クラス別の発表に元気いっぱい取り組んだほか、保護者らと一しょに楽しむプログラムもあり、競技を通じて皆が絆を強めていました。